


# 研修資料サンプル「児童書の調べ方」※抄録

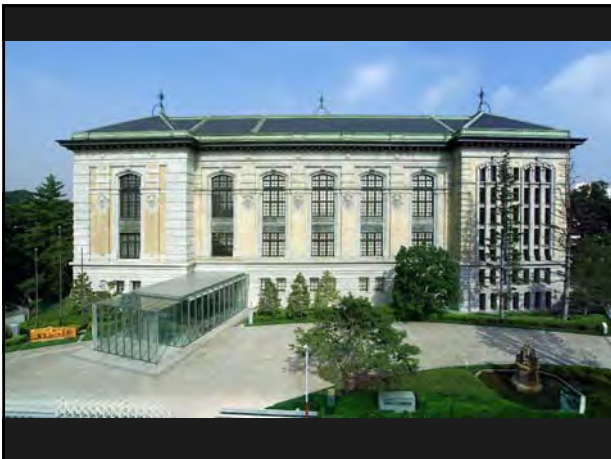
国立国会図書館国際子ども図書館のレファレンスサービス



International Library of Children's Literature  
国立国会図書館 国際子ども図書館

1. 国際子ども図書館について
2. 国際子ども図書館のレファレンスサービス
3. 国際子ども図書館のレファレンスツール
4. 国際子ども図書館のレファレンス事例

1. 国際子ども図書館について



1906(明治39)年	帝国図書館創建
1929(昭和 4)年	帝国図書館第二期工事完成
1948(昭和23)年	国立国会図書館開館
1949(昭和24)年	国立国会図書館の支部上野図書館となる
2000(平成12)年1月	国際子ども図書館設立
2000(平成12)年5月	国際子ども図書館部分開館
2002(平成14)年5月	国際子ども図書館全面開館

「子どもの本は世界をつなぎ、未来を拓く！」

「読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの」  
(子どもの読書活動の推進に関する法律第2条)

- 児童書専門図書館としての役割
- 子どもと本のふれあいの場としての役割
- 子どもの本のミュージアムとしての役割

- 国内刊行児童書 (2012年3月末現在)
  - 図書: **234,834**冊
  - 雑誌: **1,404**タイトル  
(児童図書、児童雑誌、学校教科書(H14年度以降)、教師用指導書、小中学生向け学習参考書)
- 外国刊行児童書
  - 図書: **76,120**冊
  - 雑誌: **72**タイトル  
(約120の国と地域の児童図書、児童雑誌)

- 来館者数 (2010年)
  - 121,866**人  
(うち中学生以下 **17,888**人)
- 館外貸出点数※
  - 図書館間貸出: **346**点
  - 学校図書館等児童書貸出: **6,722**点

- レファレンス処理件数 (2010年)
  - 文書: **276**件
  - 電話: **1,961**件(うち18歳未満 **12**件)
  - 口頭: **12,439**件(うち18歳未満 **958**件)

※個人の方への貸出はしていません。

## 2. レファレンスサービス

### レファレンス・サービス

- 資料や情報を求めている**利用者をサポートする。**
- 回答は**資料に基づいて**行う。
- 調べもの・探しものの**主体は利用者で、**図書館員はそれを手伝う。
- 利用者が自力で調べものができるように、**ツールや案内を準備する。**

## レファレンスの類型

1. 所蔵調査	資料を当館で所蔵しているかどうかの調査
2. 所蔵機関調査	当館以外の機関での所蔵の有無の調査
3. 書誌的事項調査	ある文献についての書(誌)名、著者名、出版地、出版者、出版年、巻号、掲載ページなどの調査
4. 文献紹介	ある主題を調べる時に参考となる文献の紹介
5. 類縁機関案内	その問題を扱っている機関の紹介
6. その他	利用案内、資料検索方法など

## 受けないレファレンス

1. 古書・古文書・美術品などの鑑定および市場価格の調査
2. 良書の推薦
3. 学習課題、卒業論文又は懸賞問題に関する調査
4. 人生案内、身上相談又は医療相談若しくは法律相談
5. 文献の解説、翻訳、注釈又は抜粋の作成
6. プライバシーの侵害にあたる調査
7. 著しく経費又は時間を要する調査
8. 調査・研究の代行と認められる調査
9. 合理的な検索手段のない記事や写真などの調査
10. 複写サービス利用のための著作権者調査(没年、連絡先等)

## レファレンスの流れ



## 子どもに対するレファレンス

- 子どもの疑問・調べ学習・読書案内

## 大人(一般)に対するレファレンス

- 児童書・児童文学関係、児童図書館・学校図書館活動に係る主題に関するレファレンス

## ストーリーレファレンス

- 「昔、子どものころ読んだ、こんな内容の本を探している」といった問い合わせ。
- 書名や著者名が不確かか、ほとんど覚えていないが、細部は鮮明に憶えている、あるいは、特定の場面が特に強く心に残っているといった例。
- 有名なものや優れた本とは限らないため、資料を探し当てることは非常に難しいことが多い。

## レファレンスインタビュー

- レファレンスはインタビューが大事。
- 質問内容を正確に把握すること。

## レファレンスインタビューの障害

- 利用者の問題
- 図書館の問題

## 3. レファレンスツール

## 国際子ども図書館のレファレンスツール

- 国立国会図書館サーチ
- リサーチ・ナビ
- NDL-OPAC
- 国立国会図書館デジタル化資料  
近代デジタルライブラリー
- 国際子ども図書館ホームページ

## 4. レファレンス事例

## 国際子ども図書館のレファレンス事例

- 子どもからのレファレンス
- 人物調査
- ストーリーレファレンス
- 事実調査
- 資料探し(テーマ別)
- 外国語の資料のリスト

## 子どもからのレファレンス

- 将棋が好きな小学生の親子。将棋の始まりを知りたい。

1. まずポプラディアなど百科事典で見てもらう。  
→古代インドにルーツがある
2. 書架(NDC分類)で「将棋」の棚を案内。  
→『将棋を初めてやる人の本』、『みんなの将棋入門』
3. 国際子ども図書館子どもOPACで「将棋」と検索。  
→『日本の生活道具百科5 祈る道具遊ぶ道具』が「あらすじ」でヒット
4. ゲームの歴史や、北海道・東北の伝統の資料から将棋の駒の生産の記事も紹介。

## 人物調査

- 『くまのプーさん』のイラストを描いたE.H.シェパードについて。和書を希望。

Ernest Howard Shepard, 1879-1976

1. 事典類を提示。  
『世界児童・青少年文学情報大事典』
2. 研究書を提示。  
→イギリスの絵本の挿絵画家という観点から『イギリスの絵本の歴史』など  
→『くまのプーさん』という作品の観点から『くまのプーさんと魔法の森へ』など
3. 洋書を敬遠されたけど提示。  
→『The Work of E.H.Shepard』  
『Children's literature review』Vol.27

## ストーリーレファレンス

- 昭和19年に読んだ絵本。
  - ・ピンクのドレスを着たお姫様が何か実を食べた途端、額から大きな角が生える
  - ・沼地で王子と金の船に乗ると、金の船が空に飛んでいく
  - ・最後は何かを食べて角が取れ、元に戻る

## 『コガネノフネ』

- 記憶違いと思われる箇所
- 王子→獵師
  - 沼地→お城の中の池

## 事実調査

- ピーター・パンのパンは何のパン？

1. 『オックスフォード世界児童文学百科』を確認  
→意味についての記載なし。  
→原綴りが”Peter Pan”と頭文字が大文字なので、固有名詞ではないかという想定はできる。

2. 研究書を確認  
→『ロストボーイズ：J.M.バリとピーター・パン誕生の物語』p.74に、

「古代ギリシャの紙、自然と異教信仰と無道徳との象徴である牧羊神(パン)になぞらえて、ピーター・パンと名付けられた」、

とあり。

## 資料探し(テーマ別)

- 大学生。「食育」がテーマの絵本リストを作りたい。

1. 「食育」のイメージの確認  
具体的にどういことが「食育」か？

2. 対象年齢の確認

3. 以下を紹介

- ・ OPACの検索方法
- ・ テーマ別、またはテーマから検索できるブックリストの紹介
- ・ 雑誌記事索引から、『児童文芸』2009年4・5月号の特集記事

## 外国語の資料のリスト

- タガログ語の絵本を探している。

1. NDL-OPACの検索方法を案内

2. レファレンスの動機を確認すると、貸出希望とのこと。  
→他機関案内: ACCUライブラリー

3. さらに話を聞くと、タガログ語の文字の絵本なら何でもよい、ということに。インターネットにあるデジタル化された絵本も紹介。  
→ICDL(The International Children's Digital Library)



International Library of Children's Literature  
国立国会図書館 国際子ども図書館